

注意！

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制（農薬使用基準等）等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意ください。

農作物技術情報 第8号 畜産

発行日 平成28年 10月27日
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ（電話 0197-68-4436）

携帯電話用 QR コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコンからは「<http://i-agri.net/agri/>」 携帯電話からは「<http://i-agri.net/agri/i/>」

◆ 分娩間近の牛の観察 分娩看視カメラを使って、分娩看視をもっと楽に行いましょう。

分娩間近の牛の観察

（1）分娩看視カメラの活用

分娩は昼夜関係なく起きるため、分娩の介助や分娩直後の子牛の処置等に備えて分娩を看視することは、飼養する人にとって体力的、精神的に大きな負担となります。それを比較的安価で設置の容易な防犯カメラを活用して解消することができます（写真1）。

夜間（特に冬季）に自宅（事務所）と牛舎間を分娩看視のために何度も往復するのは大変な労力ですし、分娩間近で神経質になっている牛にもストレスがかかります。

分娩看視カメラを設置すれば牛にストレスをかけず、分娩直前まで自宅等で分娩牛の看視が可能となります（写真2）。



写真1 防犯カメラを活用した看視カメラ

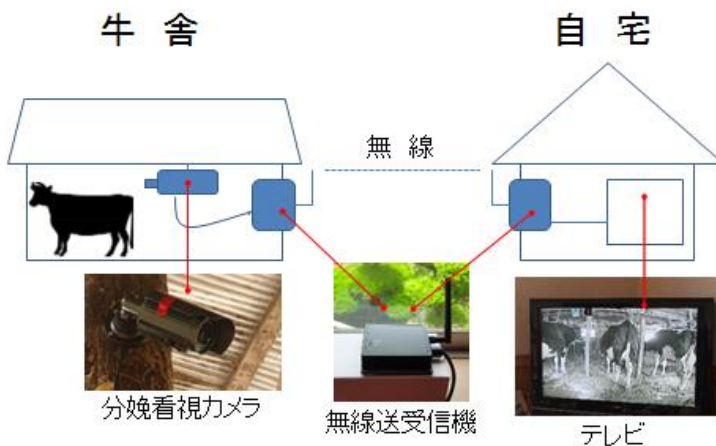


写真2 テレビに映るカメラ映像

（2）分娩看視カメラ設置方法

いろいろな設置方法がありますが、ここでは一番標準的な無線タイプのカメラの設置例を紹介します（図1）。

分娩看視カメラ設置についての詳細は最寄り普及センターにご相談下さい。



注1 音声もカメラの機種を選べば聞くことができます。

注2 複数のカメラ映像を1台のテレビでみることも可能です。

図1 分娩看視カメラ設置例

自宅だけではなく、外出先でも牛の様子を確認したい方には下記のようなWEBカメラとスマートフォン（スマホ）の組み合わせがお勧めです。規模拡大にうまく使っている事例もあります。



自宅～繁殖牛舎まで3.2km 車で5分程度



図2 カメラ+スマートフォンを活用した事例

(3) 設置にあたって気になることベスト3

- 1 Q 牛舎と自宅が離れているけど大丈夫？
A 無線タイプでは通信可能距離は見通しで200m。
しかし、間に障害物(建物、林など)があると送信距離が低下しますので注意が必要です。
- 2 Q どのような画像が映るの？
A 赤外線照射機能がついたカメラであれば、昼はカラー、夜は白黒で映ります。
- 3 Q 資材代はどのくらいかかるの？
A 設置型やカメラの機種・能力で金額は増減します。
表1に設置事例における費用を紹介します。
WEB型はインターネット環境の整備が必要となる場合があります。

表1 設置費用の例

設置型	設置費用
無線型	6～8万円
WEB型	18～22万円

次号は11月24日(木)発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。発行時点での最新情報に基づいて作成しております。発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。

**9月15日～11月15日は
秋の農作業安全月間です**

気をつけて！ 互いに声かけ 農作業安全

中央農業改良普及センター・地域普及グループは、現地農業改良普及センターを通じて先進農業者に対する支援活動を展開しています。